蒲郡市民病院経営強化プラン（案）
パブリックコメント募集で提出された意見及び意見に対する考え方

募集期間	令和５年４月１０日から令和５年５月９日まで
担当課	市民病院事務局　管理課
実施方法	（１）蒲郡市民病院ホームページにプラン（案）を掲載して意見募集 （２）市民病院事務局　管理課、蒲郡市役所　情報公開コーナー、公民館でプラン（案）を閲覧に供して意見募集
提出意見	１名８件

No	提出者	意見	意見に対する考え方
1	A	診療科新設の取組の追加（医師確保）検討お願い　P4 放射線治療科：がん治療に置きまして放射線治療は選択肢として重要な位置にあります サイバーナイフやＩＭＲＴなどに対応する医師確保 放射線診断科：読影を迅速に行う医師確保 生殖医療･産婦人科：不妊患者の増加、少子化に対し重要となっており、体外受精を含め総合的対応を行う医師確保　P19 腫瘍内科：全科の化学療法に対し主要科と連携し副作用を軽減しつつ最大の効果を出す化学療法専門医を配置	名古屋市立大学との寄附講座により診療体制が充実し、当院のがん治療においても、手術による外科的治療、化学療法、放射線療法、免疫療法が提供できるようになりました。がん治療においては患者さんの希望する治療方針に基づきながら、病院全体がチームとして、患者さん、ご家族に寄り添った対応が必要と考えております。地域医療構想や近隣病院との機能分化も考慮しながらも、医師確保や必要な医療機器の導入などの診療体制の充実をはじめ、認定看護師の育成やチーム医療体制の更なる強化などに引き続き取り組んでいきたいと考えております。
2	A	災害拠点病院の指定取得に加え救命センター取得の検討お願い　P5、P13、P24 災害拠点病院である場合、やはりHCUだけでなく将来的には救命救急センターが必要と思います。 また、プランにありますように産婦人科・小児科の救急外来体制維持は必要ですが、この領域での医師継続確保は難渋にて研修医から当該科を選択して残ってくださる働き掛けも重要と考えます。	災害拠点病院の指定要件として救命救急センターまたは第二次救急医療機関であることとされており、要件は満たしていますが、将来の課題としてご意見を承ります。 産婦人科・小児科の救急外来体制維持はもちろん、当院の医療提供体制の維持のためにも初期研修医が後期研修医として当院を選択していただけるよう、働きかけは行ってまいります。
3	A	医療機能の方向性についての整理でのお願い 連携強化、機能分化：地域医療支援病院を目指し、東三河南部医療圏において、西では蒲郡市民病院と豊川市民病院にて地域医療の先導役として機能を果たす。　Ｐ７	当院では、2018 年度からの名古屋市立大学との寄附講座締結により、医師を確保するとともに、ロボット手術をはじめとする最先端医療を導入し、大学病院と遜色ない医療の提供に努めてまいりました。この体制を継続するとともに、豊川市民病院との連携を強化し、東三河南部医療圏における地域医療の先導役を担っていければと考えております。
4	A	救急医療での更なるチャレンジのお願い ドクターカーの運用を検討し、消防とタッグを組み、現場から医師の介入によって救命率向上を図ることも検討をお願いします。	地域の基幹病院として、救急体制の強化は重要と認識しております。新棟建設と合わせて、救急外来の拡張も計画をしております。また、普段から行っている蒲郡市消防本部救急隊との意見交換をはじめ、今後は情報共有や訓練などについても連携を図り、体制強化に取り組んでいきたいと考えております。

No	提出者	意見	意見に対する考え方
5	A	再生医療（大学と、企業との協働） 最新の医療提供へのチャレンジ良いですね。光免疫療法(適用範囲拡大が見込まれる)も検討をよろしくお願いします。	再生医療は日々、新しい医療技術が開発されています。「再生医療のまち　蒲郡」の実現にむけ、産学官連携をより強く進め、当院で実施できる新たな再生医療を検討するとともに、再生医療をより身近な医療として提供できるよう取り組んでいきたいと考えております。
6	A	医療ツーリズムチャレンジ　P21 観光都市政策との親和性も高い医療ツーリズムへの進出良いですね。 インバウンドのみならず国内からの受入れも想定して、本プラン期間内に具体的な取組みへの着手よろしくお願いします。観光都市の繁栄にも寄与ですね。	医療ツーリズムについては、市の観光政策部門と連携した取り組みについて検討しておりましたが、コロナ禍において具体策の検討が進みにくい状況でありました。この５月からの新型コロナウイルスの５類への移行を受けて、インバウンドのみならず国内観光も回復しつつあることから、今後、国内向けの事業展開も含めて検討を重ねてまいります。
7	A	周辺施設との連携強化　P23、P25 地域医療連携運営委員会にて地域医療連携システム構築を目指したいですね。 紹介、逆紹介患者のデータ共有（検査データ、画像データ、診療要約、診療情報提供書、医療機器の共同利用予約など）地域完結で市民を診る効率化を図る。	当院が構築を目指す「地域包括医療システム」は、医療・介護・福祉等の関係者が連携して切れ目のない診療や支援が行えるように、診療情報を含めた患者情報（検査データ、画像データ、診療要約、診療情報提供書）等を共有するための仕組みです。診療情報を医療・介護・福祉等の関係者とリアルタイムで共有するためには、現状ではハード面・ソフト面のいずれにおいても課題がありますが、今後もシステム構築を目指して、関係機関との連携を強化するとともに協議を重ねてまいります。
8	A	働き方改革　P27、P28 相互派遣良いですね。医療のDX化は拘りを捨て、割り切りも踏まえ、まずやってみるが大切ですね。 また、タスクシフト、タスクシェアにより専門的な業務時間を増やしパフォーマンス向上（急性期患者数の増、収支向上）が得られなければ見直しが必要と考えます。ただし、過度の時間外勤務の軽減はありですね。	貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。